

Alii !!

パラオから第11号目となるメッセンジャーをお届けいたします。

この執筆をしているのがちょうど11月1日になるので、今年も残すところあと2か月です。私のパラオでの活動も残り11か月。本当に月日が経つのがはやいです。

パラオは日本のように四季がないのですが、最近では朝日が昇るのが少し遅くなり、日が沈むのが少しばかり早くなりました。一年前は朝日のことを気にしたり夕日のことを思ったりしない日々だったので少しずつ自分の中で余裕が出てきたのかな、と最近感じております。

今回のメッセンジャーではパラオならではの伝統文化、【BABY SHOWER】について紹介をいたします。【BABY SHOWER】は、カップルの間に第一子が生まれたときにだけ行う行事です。子供の誕生を両家で盛大にお祝いするこの行事に先月参加してきました。



場所は赤ちゃんの母親側の実家で行われます。今回はめずらしくビーチ前が会場でした。

私が参加したことのある【BABY SHOWER】コロールの街中にあるパラオの家が会場でした。なので今回はいつもとは違う会場で違う気分を味わいながら。。。

天気にも恵まれて、きれいなビーチを眺めがら一日を過ごしていました。

今回は赤ちゃんの父親の従妹が同僚だったため、その同僚と同僚の家族と一緒に行きました。

【BABY SHOWER】はだいたいお昼前から始まります。父親側はその時間帯に合わせて母親の実家に行きます。会場の準備は母親側が行ってくれます。テントを立てたり、料理を提供したり、会場設営をしたり、、、父親側をもてなします。写真は見にくいのですが、豚一匹。フルーツバスケット。カップケーキタワー（もうすでに人々の手にわたっていますが、、、）父親側は赤ちゃんのために親戚中からお金を集めてそれを贈呈します。





主役の母親が出てくる前まではメインステージでパラオ語の歌手に合わせながら女性が主に前に出て踊ります。みんな陽気です。音楽はゆっくりなチャチャチャが多いです。とくにステップが決まっているわけではないので、みんな好きに音楽に合わせてステップを踏んでいます。



そして母親が登場。伝統的な衣装を身に着けて、肌にはココナツオイルとジンジャーを混ぜたものを塗り、手には薬にもなる葉を持ち、ステージへ。母親側のおばさんがアシストをします。



そして、母親の周りに集まり音楽に合わせてまた踊っていきます。手にはチップの1ドル札を持っています。だいたいこれが1時間ぐらい続きます。そして【BABY SHOWER】が終わるのは夕方すぎ。それまでみんな踊って、食べて、飲んで、写真撮って、談笑して、、、☺

赤ちゃんの誕生を両家の親戚で盛大にお祝いします。



パラオの伝統的な文化【BABY SHOWER】を今回は紹介させていただきました。日本にはない文化で最初に参加したときは驚いていましたが、一年もたつと私も一緒に踊ったり食事をしたり、お酒を飲んで祝杯をあげたりと、パラオ人らしい生活スタイルがなじんできました。なんでも経験が一番。恐れずに挑戦していくことを忘れずに残りの1年も過ごしていきたいと思います。

お読みいただきありがとうございました！ Sulang😊